

設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。

○×記入欄

- 例題 全日本宗教学具協同組合が定める仏壇の日は毎月27日である。 ○
- 問1 釈尊の父親は浄飯王である。 ○
- 問2 釈尊の遺骨のことを仏舎利と呼ぶ。 ○
- 問3 浄土五祖、浄土真宗七高僧の一人である道綽は仏教を「聖道門」と「浄土門」に分け、浄土念仏を勧めた。 ○
- 問4 日本の神々と仏教の諸仏を融合させた関係を神仏習合と呼ぶ。 ○
- 問5 鑑真は鎌倉時代に戒律を伝えるために日本に来た。 ×
- 問6 仏になる素質のことを仏性と称する。 ○
- 問7 天台宗の総本山は比叡山延暦寺である。 ×
- 問8 定朝は奈良・東大寺南大門の仁王像制作に関わった。 ×
- 問9 臨済宗のお仏壇の向かって左側に安置される脇侍は壺山紹瑾である。 ×
- 問10 智山派・豊山派は臨済宗の一派である。 ×
- 問11 「宗門人別改帳」による檀家制度は江戸時代に始まった。 ○
- 問12 持仏堂と魂棚、床の間はそれぞれ仏壇の起源の一つである。 ○
- 問13 神宮大麻とは伊勢神宮の神札のことである。 ○
- 問14 如来像のカーンした頭髪のことを肉髻と呼ぶ。 ×
- 問15 右の仏像は浄土真宗本願寺派の像容である。 ×
- 問16 中陰とは中有のことで死んだ後三十五日法要までの間のことを言う。 ×
- 問17 十王の一人が閻魔王であり、冥界のお裁きでは四十九日目に登場する。 ×
- 問18 お盆で、生きている両親や生きている者に対して供養を行うことを生身魂という。 ○
- 問19 右の仏像はお釈迦様が誕生された時の姿を表現したもので、御花祭りの時に安置される。 ○



問9



問15



問19

採点欄

--	--

p.2

(前頁よりの設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

○×回答欄

- 問20 追善とは生前に自分の供養を済ませることを言う。 ×
- 問21 グリーフケアは大切な人の死を受け容れるためのサポートのことである。 ○
- 問22 お布施の布施とは悟りへと至るための六波羅蜜の一つである。 ○
- 問23 仏壇公正競争規約における金色の合成塗料の表示用語は「金色塗料」である。 ○
- 問24 呂色仕上では、呂色炭などを用いた研磨が行われる。 ○
- 問25 カシュー樹脂塗料の原料はピーナッツの殻油である。 ×
- 問26 伝統的な製造技法で作られる縁付け金箔の箔打ちに用いられる箔打紙は硫酸紙(グラシン紙)である。 ×
- 問27 金メッキの工程には金メッキを行う前に、脱脂・脱錆が行われる。 ○
- 問28 右の仏壇は浄土真宗本願寺派の仏壇である。 ×
- 問29 右のように一段高めた天井のことを折上天井と呼ぶ。 ○
- 問30 芯材に貼り付けられる薄い天然木のことを突き板と呼ぶ。 ○
- 問31 仏壇公正競争規約でのシナベニヤの表示用語は「天然合板」である。 ○
- 問32 仏壇公正競争規約での厚板貼りとは、8^{mm}以上の木材を芯材に貼ったものである。 ×
- 問33 右の面取(⇒箇所)を几帳面と呼ぶ。 ×
- 問34 仏壇公正競争規約では唐木仏壇の製造工程、木地・彫刻・宮殿・塗り・組立仕上げの5工程のうち、木地・組立仕上げを国内で施工したものは「国産」と表示できる。 ×
- 問35 在家用リンの基準寸法は高さである。 ×
- 問36 右の仏具は火舎(火舎香炉)である。 ○



問26



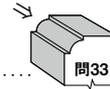
問28



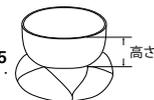
問29



問30



問33



問35



問36

採点欄

--	--

p.3